

■ 4つの「経営理念」

- ① 私たちは納税者の権利を守り中小企業と国民を大事にする税制をめざします。
- ② 私たちは中小企業のよい会社づくりを通してお客様の満足を追求します。
- ③ 私たちは身近でかけがえのないコンサルタントをめざします。
- ④ 私たちはお互いに成長し、豊かさを創造する職場づくりをめざします。

# 第一経理ニュース

■ 三〇条の言い分 …………… 1	■ コロナを生き抜く …………… 6
● PICK UP 会社訪問インタビュー …………… 2	■ グループ法人・事業部紹介 …… 7
■ 代表交代のご挨拶・役員就任のお知らせ… 4	■ 業種別景況分析 …………… 7
■ 令和3年度 地域別最低賃金額改定… 5	■ INFORMATION …………… 8



## 三〇条の言い分

「多様性」や「ジェンダー」という言葉を耳にする機会が多くなってきた。しかし、行政へ提出する文書でも性別を記載する項目が多く残っている(しかも、ほとんどが「女・男」ではなく「男・女」)。もろもろの手続きを経て様式を変更するのは大変だろうなあ、と思う一方で、「@」の表記は多くの様式からあっという間に無くなったことを思うと、かけ声一つでいくらかでも変わるのに、とも思ってしまう。

一方で、行政文書に限らず、性別での識別は小学生のランドセル、制服などなど、いろいろな所に残っている。何かを変えること・変わることは難しい。それが長い時間をかけて刷り込まれたものであれば、なおさら難しい。

でも、当事者にとっては自分たちのアイデンティティの問題であり、人権の問題である。社会の全員が、そのことに目を向け、想像し、変えていこうという意志を持つことが必要だと思う。

(結)



撮影者:北

# 心のふれあいを 大切に、特色ある 動物病院を目指して

JR上尾駅から徒歩で10分ほどに位置するフジタ動物病院。365日診療を実施する、このエリアを代表する動物病院です。院長の藤田桂一さんは口腔内疾患で著名なドクター。顎の骨折や口腔内の腫瘍あるいは歯周病などに悩む犬や猫の飼い主さんたちから信頼され、県外から来院される方も多いいいます。フジタ動物病院婦長の藤田理恵子さんに、特色ある病院づくりや、クレドを導入した理由などを中心にお伺いします。



ですが、夫が30歳、私が26歳の時に結婚。その2年後、この上尾の地での開業にこぎつけたのです。

## 今年で開業して33年目 苦労人の夫とともに自力でスタート

フジタ動物病院は1988年、現在地のほぼ隣のマンションの1階で、院長である夫の藤田桂一と開業し、今年で33年になります。資金も潤沢ではなく、夫と私のふたりきりでの開業でした。夫はアルバイトと奨学金で獣医師になった苦労人。実家は埼玉県大宮で建設業を営んでいましたが倒産。夫の仕事への情熱は、その時の強烈な体験が基になっているのかもしれない。実は私たちは幼なじみ。夫の父と、私の父は仕事を通じてお付き合いがあり、家族ぐるみの交流がありました。当時私の家は京都にあり、夫の家族が遊びに来たことをきっかけに文通が始まります。その時の私は小学5年生で、夫は中学3年生。それから、お互いの家族には様々な困難があったの

## 口腔内疾患ならフジタという 強みを生かしていく

獣医大学で歯科分野の講義や実習はなく、専門教育を受ける機会は無いに等しいです。私は歯科衛生士の経験から、口の中の疾患で来院される犬や猫を見て、歯科衛生が徹底されていないことを夫に指摘しました。夫はそこから研究を重ね、歯科分野の学会発表をするようになり、大学院研究生となり、44歳で博士号の学位を取得しました。

歯周病や口腔内疾患を診察、治療するため、手術室の他に歯科治療室も設けています。2018年にはCTも導入。口腔内の疾患では、他院からの紹介も多くいただいています。きっかけは、歯科衛生士であった私の忠言から始まりましたが、今では当院の特色となり、差別化に役立っていると思います。



写真左：3つのグランドクレドが掲げられた入口。「1. 心と心のふれあいを大切にします。2. 飼い主さんから感謝される医療を目指し、私たちもお役に立てることに感謝します。3. 飼い主さんと動物との生活の質が向上するための良きアドバイザーとして努力します」。この他、細やかな行動指針となる30のクレドがある。写真中央：2018年に導入されたCTで、精密検査も可能に。写真右：スタッフ全員が集合して記念写真。

## 時代の変化とともに スタッフ育成の重要性に直面

1997年、5階建ての新病院を建設。スタッフの数も飛躍的に増加していきました。新築当時にはすでに15名ほどでしたが、現在では獣医師、看護師、受付、トリマーなど含め約46名を数えるほどになりました。

2000年頃から、若いスタッフをどう育成していくかを考えることが多くなりました。獣医師は、動物の病気を診るだけではない、飼い主さんと健全な心の交流が保てない人は適切でないというのが夫の持論。あいさつをする、分け隔てなく丁寧に接するなど、謙虚に診察させていただくという姿勢が必要です。そのため、若い先生や看護師さんたちに厳しく指導することもありました。私も外部の勉強会やセミナーに参加し、スタッフ育成のための糸口を探していました。

## スタッフの手でクレドを作成 トップダウンではない組織作り

2008年、クレドを導入してみようと思ひ立ちます。クレドとは、企業理念をより具体化し、スタッフの行動指針を文章化



したものです。あるセミナーでクレドを知り、当院でも導入したいと考えていたとき、第一経理のご担当者がクレドを開発する会社のトップとお知り合いだったという偶然に恵まれ、依頼。院内にクレド委員会を設置しました。クレド委員会のトップは獣医師の先生にお願いしました。獣医師、看護師、トリマー、受

付スタッフなどから構成し、フジタ動物病院の理念、約束など約1年をかけて組み立てました。夫も私も最終チェックのみ行い、作成過程はノータッチ。スタッフの総意で作ったものでなければみんなの心に浸透しにくいと考えたからです。

クレドは、毎朝の全員ミーティングで復唱します。たとえば1日なら1番目のクレドを全員で読み上げ、その後、上長がひとりを指名し、その日のクレドに関するスピーチをします。誰にあたるかわかりませんから、みんながちゃんとスピーチを考えてくるのです。クレドはそうやって日々、スタッフに生きづいています。

## 動物、飼い主さんへまごころで接する これからの動物病院の未来

2007年にはトリミングや療法食を扱うグルーミングガーデンを開設しました。多くの飼い主さんに支持され、予約が取りにくいこともあります。日本の犬の飼育頭数は減少期に入っており、今、盛況だからということに甘んじず、時代のニーズに合った医療やサービスを提供していかなければいけません。それは院長や私だけではなく、スタッフの総意で取り組んでいくべきもの。全員で当院の今と未来を考えて行動し、一緒に盛り立てていければ、と思っています。そして、フジタ動物病院を通してスタッフひとりひとりが輝き幸せになることが動物達の幸せにつながると信じて、これからも努めていきます。



### フジタ動物病院

<http://www.fujita-animal.com/>

〒362-0074 埼玉県上尾市春日1-2-53

# 代表交代のご挨拶

去る9月15日開催の当グループの定時総会におきまして、役員改選が行われ、代表の交代がございました。そこで、新代表の大澤一弘及び前代表の齋藤正広より、皆様にご挨拶申し上げます。



(左:齋藤正広/右:大澤一弘)

このたび、齋藤正広の後任として、第一経理グループ代表に就任いたしました大澤一弘でございます。1998年の入社以来、数多くのお客様、そして仲間を支えられ、ここまで歩んでまいりました。まだまだ力不足ではございますが、第一経理グループが今まで以上にお客様の発展のためお役に立てますよう、全力を尽くして参る所存でございます。

さて、長引く新型コロナウイルスの影響により、日本だけでなく世界中が先の見えない大変厳しい状況下にあります。相変わらず税制の大企業・富裕層優遇の構造は変わっておりません。2年後には、多くの中小企業を混乱させ、零細事業者の廃業を加速させる消費税インボイス制度の導入が予定されております。雇用においては最低賃金の引上げ、有給休暇の取得義務化など、中小企業経営にとっては悩ましい問題が山積みです。加えて政府が進

めるデジタル化は、IT人材の乏しい中小企業に大きな負担を及ぼすとともに、対応できない企業を淘汰することにつながります。

私たちは「中小企業の未来を共に支える」という使命を掲げております。このような厳しい時、苦しい時こそ、経営者の皆さまに私たち第一経理グループの職員一人一人がしっかり寄り添い、経営課題解決のためにグループの総力を結集し、取り組んでまいります。そのために、前代表が掲げた「会計事務所でない会計事務所」という、従来のサービスの枠にとらわれない目標を引き続き追求してまいります。

「第一経理がいれば安心」「第一経理なら何でも相談できる」。すべてのお客様からこのような言葉をいただけるグループを目指してまいります。

今後ともこれまで同様、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 第一経理グループ新代表

株式会社第一経理 代表取締役/税理士法人第一経理 代表社員  
大澤一弘

このたび、第一経理グループ代表を退任し、大澤新代表にバトンタッチいたしました。9年弱にわたる在任中、顧問先、関係諸団体の皆様にとにかくならぬご支援、ご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今、企業経営は大きな環境変化の時代を迎えています。私たち第一経理グループも、お客様の経営サポートをさらに充実するため、変化、進化し続け

なければなりません。若い大澤新代表は、優れたリーダーシップを発揮して、皆様のご期待に沿う活躍をするものと確信しております。

私は、引き続きグループの役員に留任し、新代表のサポートをして参る所存です。

今後もお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社第一経理 取締役/税理士法人第一経理 代表社員  
齋藤正広

## 役員就任のお知らせ

2021年9月15日開催の定時総会におきまして、**瀨上信一**（現：埼玉事務所長）がグループ役員及び株式会社第一経理取締役に就任いたしました。

ふちうえしんいち



# 令和3年度 地域別最低賃金額改定

社会保険労務士 阿部 朋子

毎年10月をめぐりに、全国の地域別最低賃金額が改定されます。令和3年度の目安について、厚生労働省の中央最低賃金審議会は、**全国一律で28円の引き上げ**とする答申を取りまとめました。

前年度はコロナ禍の影響で目安を示すことができず、結果的に全国加重平均で1円の引き上げにとどまりましたが、令和3年度は一転して過去最高の引き上げ額となる目安を示しました。昭和53年度に目安制度が始まって以降最高額となり、また、引き上げ率に換算すると3.1%になります。

各地域別にみても、**東京1,041円、神奈川1,040円、埼玉956円、千葉953円**となる見込みです。**最低賃金を下回るような金額の従業員がいな****いかを確認し、いるときには給与額の見直しが必要****です。**

最低賃金改定の参考資料として、厚生労働省の「令和3年賃金改定状況調査結果<sup>\*</sup>」によると、2021年1～6月に賃金引き上げを実施した事業所割合は全体の36.3%で、7月以降も賃金改定を実施しない事業所の割合は48.8%となっています。2021年は全体の約50%が賃金改定を実施せず、賃上げ実施割合も低下するなど、新型コロナウイルスの影響が賃金改定にもあらわれていることがわかります。

そのような中での最低賃金の引き上げが企業に与える影響は大きく、人件費の増加のみならず、所得税や社会保険における、いわゆる「扶養の壁」の額を意識してパートタイマーの方が労働時間を減らすことも考えられます。

【表1】業種別賃金改定実施状況(%)

	1～6月に賃金引き上げを実施した事業所		1～6月に賃金引き下げを実施した事業所		7月以降も賃金改定を実施しない事業所		7月以降に賃金改定を実施する予定の事業所	
	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年
産業計	41.2	36.3	1.5	1.5	42.1	48.8	15.1	13.5
製造業	32.3	33.3	2.1	0.7	53.3	51.8	12.4	14.2
卸売業、小売業	48.1	38.8	1.5	1.2	32.6	44.6	17.7	15.4
学術研究、専門・技術サービス業	46.2	43.2	1.6	1.9	45.5	43.8	6.8	11.1
宿泊業、飲食サービス業	28.3	23.8	1.1	1.6	55.6	61.6	14.9	12.9
生活関連サービス業、娯楽業	30.7	19.7	0.9	4.2	46.4	61.7	22.0	14.3
サービス業(他に分類されないもの)	41.6	33.3	1.5	1.3	43.7	53.3	13.1	12.1

厚生労働省「令和3年賃金改定状況調査結果」より作成

【表2】賃金引き上げ実施事業所の平均賃金改定率(%,ポイント)

	2020年	2021年	増減
産業計	2.8	3.0	0.2
製造業	3.0	3.1	0.1
卸売業、小売業	2.5	2.7	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	3.7	4.4	0.7
宿泊業、飲食サービス業	3.4	2.8	-0.6
生活関連サービス業、娯楽業	3.0	2.5	-0.5
サービス業(他に分類されないもの)	3.0	3.1	0.1

厚生労働省「令和3年賃金改定状況調査結果」より作成

※一定の基準で抽出した全国の30人未満の15,641事業所を対象とした調査

## 雇用調整助成金の要件緩和

政府は、最低賃金引き上げに伴うコスト増に配慮し、コロナ禍で特に業況が厳しい中小企業等を対象とした支援策を強化しています。

業況特例(売上等が直近3カ月平均で前年または前々年同期に比べて30%以上減少)等の対象となる中小企業が事業場内で最も低い時間給を一定以上

(30円以上)引き上げる場合、令和3年10月から12月までの3カ月間の休業については、休業規模要件(中小企業の場合は休業の延べ日数が所定労働日数の40分の1以上)を問わずに支給する方針となっています。

<注>こちらの情報は令和3年9月3日現在の情報となっております。

**ご不明な点やご相談等ございましたら、第一コンサルティング担当者までお声かけください。**

第一コンサルティング ホームページ

<https://www.daiichi-keiri.co.jp/consulting/>



# コロナを生き抜く

玄関を出る前にマスクをつけることが当たり前の日常になりました。それほどまでにコロナウイルスは私たちの生活を蝕んでいます。日々刻々と変化する状況の中で、経営者の皆様は神経をすり減らしながら奮闘されていることと思います。

今号でも様々なお客様の「コロナを生き抜く」取り組みをご紹介します。



## 塗装メーカーのN社、新型コロナウイルスを不活性化させる「水」を開発！

塗料メーカーのN社。省エネ大賞も受賞しているN社の高機能塗料は、商業施設や住宅リフォームの現場で広く用いられてきた。しかし、コロナによる建設不況はN社に影響を及ぼし始めていた。

そんな中、N社は対コロナの研究開発を進め、新型コロナウイルスを不活性化させる「水」を完成させた。アルカリ性のウイルス不活性化剤であり、主成分は、天然水・ホタテ貝殻由来の水酸化カルシウム。99.996%の有害微生物を不活性化させる。国立大学にて実験・検証を行い効果は実証済。また、アルカリ性の水は通常皮膚や粘膜を痛めるが、特殊製法によりこの問題点もクリア。刺激性試験の結果でも安全な製品であることが確認されている。

ペットや子供用品にも安心して使えるほか、不燃性のため火気のあるところでも使用できる。「水」である特性を活かし加湿器や噴霧器に入れて使用することも出来るため、家庭内でも手軽に感染防止対策を行うことができる。理想の天然水を求めて地方に専用の工場を設立。現在、量産体制に入っている。



## 建設業を営むM社

M社は都内で建設業を営んでおり、鉄筋工事を請け負っている。資金繰りは厳しいが、コロナ融資を利用し、なんとかやりくりしている。幸い、現在はマンションや学校・老人ホームなど受注は旺盛。利幅も向上しており、来期の見通しは明るい。しかし、現場でコロナ感染が増加すれば仕事が滞る不安はいつもよぎる。

外国人研修生を多数雇い入れ労働力として頼ってきた。コロナの蔓延により帰国してしまった従業員もおり、新たな研修生を外国から呼びたいが、コロナが収まらず予定の日程が過ぎても来日できないでいる。現在は年末ごろになるのではないかとの見通しだが、感染者が増えればさらに延期になる可能性もある。仕事はあるが人手が足りずに対応できない状況が歯がゆい。

先の見通しが立たない現状において、できるだけ工期の長い現場を受注するようにし、協力会社とやりくりしながら、人手の確保に奔走中である。



## 航空部品加工業を営むY社

東京都T市に本社を置く、航空部品加工業を営むY社。去年のコロナ禍により航空産業は大打撃を受けその影響はY社にも及んだ。上期は受注残があったものの、下期は海外からの受注も一気に少なくなり、このまま進めば赤字は間違いなかった。

そうした見通しからすぐに手を打つことにした。外注から内製化へのシフトを出来るところから行い、売上が少ない月は従業員をローテーションで休ませて雇用調整助成金を申請した。従業員の生産性が落ちるのではないかという危惧があったが、逆に緩急をつけたことで従業員の生産性は上がった。コロナ融資による借換えを進め毎月の利息を減らすことができた。そうした努力により今期の売上は前年比で大幅に減少したものの、最終利益は黒字着地となった。

「来期は助成金もなくなるだろうし、大事な年となる。引き続き気を引き締めていかなければならない」と社長は仰った。

グループ法人・事業部紹介

# 相続・資産税事業部

TEL:03-3980-9137



相続・資産税事業部は、相続発生前の生前の相続対策から、相続発生後の相続税の申告実務までを行う相続税専門の事業部です。今回は、相続対策の支援概要をご紹介します。

1. 生前の相続対策立案のために財産診断をいたします。  
総財産の洗い出しと財産評価を行い、相続税の概算額を把握することからスタートします。
2. 節税のための生前対策を検討し、実行支援いたします。
3. 納税資金対策の検討をし、実行支援いたします。

4. 遺産分割対策としての遺言書作成の助言・支援をいたします。

- ①事業承継者の（推定）相続人にとっては、事業関係不動産や株式等を他の相続人に相続させると、事業に大きな制約や悪影響がでる可能性があります。
- ②遺言書において、生前に分け方を明確にしておくことは、とても有効であると考えています。  
生前対策や遺言書作成にご興味のある方は、相続・資産税事業部 橋本又は清野（TEL03-3980-9137）までご連絡ください。

今月の  
【4月決算法人】

## 業種別景況分析

売上高	伸び率		業種区分	件数	黒字件数割合	
	人件費	銀行借入金残高			当期	前期
-11%	-8%	18%	製造業	7件	71%	57%
-6%	4%	39%	建設業	45件	67%	62%
-18%	-2%	3%	不動産業	10件	70%	70%
-8%	19%	12%	卸売・小売業	6件	50%	50%
-10%	1%	83%	飲食業	2件	100%	50%
1%	-7%	265%	医療・福祉業	8件	25%	50%
-15%	-4%	53%	サービス業&その他業種	24件	63%	50%
-9%	1%	32%	全業種合計	102件	63%	58%

### 今月のコメント

- ◆ 今月も全体的に売上高伸び率のマイナス、銀行借入金残高伸び率の大幅プラスとなりました。一方で黒字件数割合が前期よりもプラスに動いている業種もあります。もちろん本業で黒字を達成している企業もありますが、今月のコメントで目立ったキーワードが「本業ではマイナス・持続化給付金や雇用調整助成金等で黒字」でした。一定数、これら補助金の雑収入により黒字に転じている企業があります。
- ◆ 人件費伸び率は概ねマイナスになっていますが、人員削減による減少もあり、企業活動の一層の厳しさを感じます。一方、卸売・小売業では+19%となっていますが、元々意図的に大きく下げていた役員報酬を正常値に戻したことによる反動のため、正味の人件費伸び率プラスとは言えません。

【算出方法】

- ・前期データを100とし、伸び率を算出しています。
- ・売上高と人件費は1社ごとの各伸び率を算出し、サンプル数で平均しています。実態をより正確に反映させるため、イレギュラーな事象によって異常値が出た数値及びサンプルは集計から除外しています。
- ・銀行借入金残高は業種の傾向をより正確に反映させるため、それぞれの全社分を合計し、そこから増減率を計算しています。
- ・対象となるサンプルは前期・当期両方の数値があるもののみを採用しています。

## INFORMATION

### DDK DDKコーナー

#### ▶ 労務セミナーのご案内

##### 就業規則の見直しと実務対応のポイント

- ・ 講師 石田 仁氏  
(経営コンサルタント・社会保険労務士)
- ・ 日時 11月5日(金) 13時半～16時半
- ・ 会場 東京芸術劇場6F ミーティングルーム7
- ・ 資料代 5,000円
- ・ 対象 経営者・経営幹部・人事労務担当者  
コロナ禍における、働き方改革・法改正に沿った、就業規則の見直しポイントを詳しく解説します。

#### ▶ DDK ETCカードのご案内

高速道路利用にあたって、UCカードと提携した法人専用ETCカード(高速利用限定)をお薦めします。①カードごとの月高速利用額に対し割引、②車両名義を問わない、等のメリットがあります。

経費節減にぜひご活用ください。

#### ▶ 小規模共済ご加入のおすすめ

小規模企業の役員の皆さんの退職金制度です。掛金は全額課税対象所得から控除、共済金の受取は一時払、分割払又は一時払と分割払の併用から選択できるなどの特色があります。

●お申込み・問い合わせは 03(3980)8298

## 一・一 会 コー ナー

### 第68回定例一・一会のご案内

2021年11月9日(火) 時間：15：00より

#### 記念講演

### 「今、共に生きるを考える～紛争地、被災地の声を聞く～」

講師：安田奈津紀氏(フォトジャーナリスト)

※webでのライブ配信となります。

詳細につきましては、別途ご郵送しております「第68回定例一・一会のご案内」をご参照ください。

皆様のご参加をお待ちしております。



募集!

## 自社PRしてみませんか?

第一經理ニュースの取材にご協力いただけるお客様を募集します! 詳細やご応募いただける場合は、各担当者までお知らせください。なお、取材先は弊社顧問先様に限定させていただきます。

●自社ではこんなことに取り組んでいる ●あの時が分岐点だった ●新しい商品やサービスを開発した ●自社の歴史を振り返ってみたい...などのテーマや切り口を中心に取材いたします。ページ数は内容等に応じて検討させていただきます。

皆様のご応募をお待ちしております!

### 新入社員の紹介



阿部 麻衣子

9月13日入社(第一コンサルティング)

よろしく願いいたします

### 放言三昧

オリンピックが終了した。執筆現在はパラリンピックが開催中というところだ。コロナ禍での開催については賛否両論が存在し、それをここで論じるつもりはないが、「なんだかんだで盛り上がった」というのは一つの事実であるように思う。

個人的に特に印象に残ったのは女子バスケットボールだ。日本は本競技にて非常に重要な1つの要素でもある「高さ」が出場国中で下から2番目だった。そこで磨いてきたのは、ゴール下の競り合いとは無縁の遠距離か

らの3点シュートだ。四方八方から長距離砲を面白いように決めてベルギーやフランスなど圧倒的な上背を持つ相手に勝利する姿は、なんとも爽快であった。大会では3点シュートの本数・成功率ともにダントツ1位だったそうだ。大国アメリカには流石に及ばず銀メダルという結果ではあったが、想像を絶する大健闘だったと思う。

劣っている部分については受け入れた上で勝てる部分を探し、それを全員に浸透させ、極める。何かスポーツ以外でもヒントになるような、そんな日本女子バスケットボールの戦い方だったと感じた。(イシデン)